

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月 9日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-240549

出 願 人

Applicant(s):

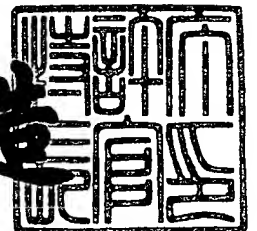
日本電気株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 5月25日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 68501851

【提出日】 平成12年 8月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

 【氏名】 吉川 正人

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100088812

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 ▲柳▼川 信

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 030982

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 映像再生システム及びそれに用いるデータ同期方式

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムであって、前記映像コンテンツの再生表示時間を計数する映像再生カウンタと、前記映像再生カウンタを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させる手段とを有することを特徴とする映像再生システム。

【請求項 2】 前記映像コンテンツを再生表示するための再生アプリケーションソフトウェアを含み、前記映像再生カウンタを前記再生アプリケーションソフトウェア内に設けたことを特徴とする請求項 1 記載の映像再生システム。

【請求項 3】 前記再生アプリケーションソフトウェアは、少なくとも前記同期情報が書込まれたスクリプトを読込むことで前記同期情報を取得するようにしたことを特徴とする請求項 2 記載の映像再生システム。

【請求項 4】 前記関連情報の内容や同期タイミングを変更する際に、前記スクリプト及び関連情報を変更するようにしたことを特徴とする請求項 3 記載の映像再生システム。

【請求項 5】 前記同期情報及び前記関連情報をインターネットを介して取得するようにしたことを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか記載の映像再生システム。

【請求項 6】 外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムであって、前記映像コンテンツに付加されかつ時刻情報を示すタイムスタンプを取出す手段と、その取出したタイムスタンプを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させる手段とを有することを特徴とする映像再生システム。

【請求項 7】 前記映像コンテンツを再生表示するための再生アプリケーションソフトウェアを含み、前記再生アプリケーションソフトウェアは、少なくとも前記同期情報が書込まれたスクリプトを読込むことで前記同期情報を取得する

ようにしたことを特徴とする請求項 6 記載の映像再生システム。

【請求項 8】 前記関連情報の内容や同期タイミングを変更する際に、前記スクリプト及び関連情報を変更するようにしたことを特徴とする請求項 7 記載の映像再生システム。

【請求項 9】 前記同期情報及び前記関連情報をインターネットを介して取得するようにしたことを特徴とする請求項 6 から請求項 8 のいずれか記載の映像再生システム。

【請求項 10】 外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムのデータ同期方式であって、前記映像コンテンツの再生表示時間を計数する映像再生カウンタを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させるステップを有することを特徴とするデータ同期方式。

【請求項 11】 前記映像コンテンツを再生表示するための再生アプリケーションソフトウェアを含み、前記映像再生カウンタを前記再生アプリケーションソフトウェア内に設けたことを特徴とする請求項 10 記載のデータ同期方式。

【請求項 12】 前記再生アプリケーションソフトウェアは、少なくとも前記同期情報が書込まれたスクリプトを読み込むことで前記同期情報を取得するようにしたことを特徴とする請求項 11 記載のデータ同期方式。

【請求項 13】 前記関連情報の内容や同期タイミングを変更する際に、前記スクリプト及び関連情報を変更するようにしたことを特徴とする請求項 12 記載のデータ同期方式。

【請求項 14】 前記同期情報及び前記関連情報をインターネットを介して取得するようにしたことを特徴とする請求項 10 から請求項 13 のいずれか記載のデータ同期方式。

【請求項 15】 外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムであって、前記映像コンテンツに付加されかつ時刻情報を示すタイムスタンプを取出すステップと、その取出したタイムスタンプを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させるステップとを有することを特徴とするデータ同期方式。

【請求項 1 6】 前記映像コンテンツを再生表示するための再生アプリケーションソフトウェアを含み、前記再生アプリケーションソフトウェアは、少なくとも前記同期情報が書込まれたスクリプトを読込むことで前記同期情報を取得するようにしたことを特徴とする請求項 1 5 記載のデータ同期方式。

【請求項 1 7】 前記関連情報の内容や同期タイミングを変更する際に、前記スクリプト及び関連情報を変更するようにしたことを特徴とする請求項 1 6 記載のデータ同期方式。

【請求項 1 8】 前記同期情報及び前記関連情報をインターネットを介して取得するようにしたことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 1 7 のいずれか記載のデータ同期方式。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は映像再生システム及びそれに用いるデータ同期方式に関し、特に映像を再生させる際の映像・データ同期方式に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、この種の映像・データ同期方式においては、同期定義情報の映像シーンに関するキーワードを取得し、その情報からネットワークに接続されている蓄積サーバから同期データを検索して同期させるという方法が取られている。そのため、データを同期させるためには検索機能を使って同期データを検索した上で、映像との同期を行う必要がある。

【0 0 0 3】

例えば、特開平 1 1 - 1 3 5 3 3 2 5 号公報には、同期データを表示するために、視聴する映像シーンに関するキーワードを同期定義情報から取得し、ネットワークに接続されている蓄積サーバからデータを検索して取得するという方法が開示されている。

【0 0 0 4】

このような従来の映像再生システムの構成を図 9 に示す。図 9 において、サー

バ装置 6 1 は視聴する映像を蓄積しておく映像データ蓄積手段 6 2 と、同期を行うのに使用する同期定義情報蓄積手段 6 3 と、映像関連情報蓄積手段 6 4 と、同期用のコンテンツを生成しかつ検索に使用する情報を生成する機能を保有する同期定義情報生成手段 6 5 と、通信制御手段 6 8 とを有している。

【 0 0 0 5 】

ここで、同期定義情報生成手段 6 5 は同期用のコンテンツを生成する同期コンテンツ生成手段 6 6 と、検索に使用する映像関連情報を生成する映像関連情報生成手段 6 7 とを有している。

【 0 0 0 6 】

端末装置 7 1 は通信制御手段 7 2 と、同期制御手段 7 3 と、出力手段 7 4 と、情報表示手段 7 5 とを有し、サーバ装置 6 1 の通信制御手段 6 8 と自装置の通信制御手段 7 2 との間で通信を行い、視聴する映像を映像データ蓄積手段 6 2 から取得し、映像関連情報蓄積手段 6 4 から映像関連情報を入手する。

【 0 0 0 7 】

情報検索装置 8 1 は同期コンテンツの検索を行い、検索が完了すると、同期コンテンツを入手し、映像関連情報に指定された時間になると、映像と同期コンテンツとの同期表示を行う。

【 0 0 0 8 】

【発明が解決しようとする課題】

上述した従来の映像・データ同期方式では、この同期システムが映像の同期コンテンツを同期定義情報に基づいて検索している間、インターネット接続しておく必要があり、また検索データの量が増大していくと、検索時間が増加し、再生まで長時間待つ必要がある。また、検索方式が正しい動作をしなかった場合には、同期にふさわしいデータを検出することができない可能性もある。

【 0 0 0 9 】

そこで、本発明の目的は上記の問題点を解消し、映像と同期用データとの同期設定を簡易に行うことができる映像再生システム及びそれに用いるデータ同期方式を提供することにある。

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

本発明による映像再生システムは、外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムであって、前記映像コンテンツの再生表示時間を計数する映像再生カウンタと、前記映像再生カウンタを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させる手段とを備えている。

【0011】

本発明による他の映像再生システムは、外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムであって、前記映像コンテンツに付加されかつ時刻情報を示すタイムスタンプを取出す手段と、その取出したタイムスタンプを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させる手段とを備えている。

【0012】

本発明によるデータ同期方式は、外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムのデータ同期方式であって、前記映像コンテンツの再生表示時間を計数する映像再生カウンタを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させるステップを備えている。

【0013】

本発明による他のデータ同期方式は、外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムであって、前記映像コンテンツに付加されかつ時刻情報を示すタイムスタンプを取出すステップと、その取出したタイムスタンプを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させるステップとを備えている。

【0014】

すなわち、本発明のデータ同期方式は、DVD (Digital Versatile Disc) 等を再生しながら再生時間をカウントするアプリケーションソフトウェア (以下、アプリケーションとする) の機能を利用し、関連データを同期表示させる機能を有している。

【 0 0 1 5 】

この機能を利用することによって、DVD等のコンテンツを視聴する視聴者が再生される映像を視聴するだけではなく、その映像に関連した情報や付加情報を映像に同期して入手することが可能となる。

【 0 0 1 6 】

より具体的に、本発明の映像再生システムでは、パーソナルコンピュータ上で映像再生用アプリケーションを実行すると、接続されたDVDドライブ、D-VHS (Digital-VHS) やCD-ROMドライブであるデータ出力手段が挿入されたDVD、ビデオカセットやCD-ROMである媒体3からデータをパーソナルコンピュータに送り出す。

【 0 0 1 7 】

パーソナルコンピュータに読込まれたデータは映像再生手段に送られ、映像の表示が行われる。その時、再生用アプリケーションは再生の始まった時点から再生時間のカウントアップを始める。処理手段は予め同期用データの再生タイミングを記述したスクリプトを読込んでおく。

【 0 0 1 8 】

再生用アプリケーションのカウンタが、処理手段が予め読込んでおいたスクリプト内に記述されている同期用データの再生タイミングと一致すると、処理手段は蓄積媒体に蓄積されている同期用データを読み出す。同期用データを読み出した処理手段はそのデータを同期用データ処理手段に送り、同期用データ処理手段は受取った同期用データを処理し、同期用データの表示を行う。この動作によって、映像とそれに関連した同期用データとの同期表示が行われる。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図1は本発明の実施の形態による映像再生システムの構成を示すブロック図である。図1において、本発明の実施の形態による映像再生システムはPC (パーソナルコンピュータ) 1 と、データ出力手段2 と、媒体3 とから構成されている。

【 0 0 2 0 】

PC1はデータ出力手段2から受取った映像データを処理して表示を行う処理手段11と、同期用データを蓄積する蓄積媒体12と、処理手段11が処理した映像データを表示する映像再生手段13と、その映像に関連しかつ映像に同期して表示すべき同期用データの処理及び表示を行う同期用データ表示手段14とから構成され、映像の再生を行う再生用アプリケーションを実行する。ここで、蓄積媒体12は処理手段11によって管理される。

【0021】

データ出力手段2はDVDドライブ、D-VHS、CD-ROMドライブ等とする。データ出力手段2はPC1に接続され、映像等を蓄積した媒体3（この場合、DVD、ビデオカセット、CD-ROM等の記録媒体）から映像データを取り出してPC1に対して出力する。

【0022】

再生用アプリケーションは映像表示時間を表すカウンタの機能を持ち、予め同期タイミングのスク립トを読込んでおく機能を持つ。再生用アプリケーションは予め読込んでおいたスク립トによって同期タイミングが来ると、処理手段11に対して同期タイミングのきたことを通知する。

【0023】

再生用アプリケーションによって同期タイミングが告げられた処理手段11は蓄積媒体12に蓄積された同期タイミングに必要な同期用データを、同期用データ表示手段14へ送る。同期用データを受取った同期用データ表示手段14は直ちに同期用データの処理を行って表示する。これによって、映像表示とその映像に関連付けられた同期用データとの同期が行われる。

【0024】

図2は本発明の一実施例による映像再生システムの構成を示すブロック図である。図2において、本発明の一実施例による映像再生システムはPC1と、データ出力手段2と、媒体3とから構成されている。

【0025】

PC1はデータ出力手段2から受取った映像データを処理して表示を行う再生用アプリケーション21と、映像データに関連しかつ映像データに同期して表示

すべき同期用データと映像データとの同期処理を行う同期処理手段 2 2 と、同期を行う時間及び実行するデータ名が書込まれているスクリプト 2 3 と、同期用データを蓄積する同期用データ蓄積手段 2 4 と、再生用アプリケーション 2 1 が処理した映像データを表示する映像再生手段 1 3 と、同期処理が行われた同期用データの表示を行う同期用データ表示手段 1 4 とから構成されている。

【 0 0 2 6 】

データ出力手段 2 は DVD ドライブ、D-VHS、CD-ROM ドライブ等とする。データ出力手段 2 は PC 1 に接続され、映像等を蓄積した媒体 3（この場合、DVD、ビデオカセット、CD-ROM 等の記録媒体）から映像データを取り出して PC 1 に対して出力する。

【 0 0 2 7 】

図 3 は図 2 のスクリプト 2 3 の一例を示す図である。図 3 において、スクリプト 2 3 には「[00:00:30] info1.txt」、「[00:02:15] http://www.info.com」、「[00:15:20] data1.mpg」、「[00:23:40] info2.txt」、「[00:33:15] sample1.exe」、「[00:46:20] data2.wav」、「[00:55:40] data3.bmp」、「[01:05:00] data3.jpg」等が書込まれている。

【 0 0 2 8 】

図 4 は本発明の一実施例による映像再生システムの処理動作を示すフローチャートである。これら図 2 ～図 4 を参照して本発明の一実施例による映像再生システムの処理動作について説明する。

【 0 0 2 9 】

PC 1 は再生アプリケーション 2 1 を実行し（図 4 ステップ S 1）、まず同期を行う時間及び実行するデータ名が書込まれかつ再生するデータ出力手段 2 に挿入された媒体 3 に対応するスクリプト 2 3 を読込む（図 4 ステップ S 2）。

【 0 0 3 0 】

その後、再生アプリケーション 2 1 において再生ボタンが押下されて映像データの再生が開始されると（図 4 ステップ S 3）、データ出力手段 3 から映像デー

タがPC 1に転送され、映像データが再生アプリケーション2 1から映像再生手段1 3に送られ、映像再生手段1 3によって映像表示が行われる（図4 ステップS 4）。

【0 0 3 1】

再生アプリケーション2 1は映像再生を始めると、再生時間のカウンタを行う（図4 ステップS 5）。再生アプリケーション2 1においては通常の時計をカウンタとして使用する。再生アプリケーション2 1はカウンタをカウントアップし、予め読込んだスクリプト2 3の指定する時間になると（図4 ステップS 6）、スクリプト2 3が指定するデータを実行する（図4 ステップS 7）。上記のステップS 4～S 7の処理は映像再生処理が終了するまで（図4 ステップS 8）、繰り返し実行される。

【0 0 3 2】

同期処理手段2 2はスクリプト2 3が指定するデータの動作を実行するのに必要となる同期用データを、ハードディスク等の同期用データ蓄積手段2 4から呼び出し、再生アプリケーション2 1を介して同期用データ表示手段1 4に送る。同期用データ処理手段1 4は受取った同期用データの処理を行う。

【0 0 3 3】

同期用データは動画データ、静止画データ、音声／音楽データ、テキストデータ、URL（Uniform Resource Locator）等とする。また、それらのデータを表示または再生するようOS（Operating System）上で関連付けられたアプリケーションを呼び出して実行してもよい。この機能を実行することによって、再生されている映像と、実行された同期用データとの同期が行われ、簡易な映像と同期用データとの同期が行われる。

【0 0 3 4】

このように、映像に同期用データや情報を埋め込んだりすることなく、再生アプリケーション2 1の再生時間のカウンタを同期用に使用することで、映像と同期用データとの同期設定を簡易に行うことができる。

【0 0 3 5】

また、映像に同期情報を盛り込む必要がないので、映像データに対して同期情

報を簡易に用意することができ、映像データの販売促進や映像データへの付加サービスの提供を行うことができる。

【 0 0 3 6 】

さらに、同期情報及びデータは映像媒体と独立して存在するので、フロッピディスク、CD-ROM、インターネットによるダウンロード等、どのような方法でもユーザが容易に入手して保有することができるため、同期情報及びデータの扱いが簡易となる。

【 0 0 3 7 】

図5は本発明の他の実施例による映像再生システムの構成を示すブロック図である。図5において、本発明の他の実施例による映像再生システムは再生機器41と、データ出力手段2と、媒体3とから構成されている。

【 0 0 3 8 】

再生機器41は映像取得手段42と、同期用データ／情報取得手段43と、同期用データ蓄積手段44と、再生用アプリケーション45と、同期処理手段46と、同期用データ表示手段47とから構成され、映像取得手段42はデータ出力手段2に接続され、同期用データ／情報取得手段43はインターネット100に接続されている。尚、再生機器41はセットトップボックスやTV（テレビジョン）、及びPC等である。

【 0 0 3 9 】

データ出力手段2はDVDドライブ、D-VHS、CD-ROMドライブ等からなり、映像等を蓄積した媒体3（この場合、DVD、ビデオカセット、CD-ROM等の記録媒体）から映像データを取り出して再生機器41に対して出力する。

【 0 0 4 0 】

図6は本発明の他の実施例による映像再生システムの処理動作を示すフローチャートである。図5及び図6を参照して本発明の他の実施例による映像再生システムの処理動作について説明する。

【 0 0 4 1 】

再生機器41は映像コンテンツの視聴を行うにあたり、同期用データ／情報取

得手段 4 3 によってその映像コンテンツに対応する同期情報及び同期用データをインターネット 1 0 0 経由で予め取得する（図 6 ステップ S 1 1）。同期用データは同期用データ蓄積手段 4 4 に蓄積しておく。

【 0 0 4 2 】

同期情報には同期時間とその時に同期させるデータ名とが記述されている。同期情報は再生用アプリケーション 4 5 に転送され、再生用アプリケーション 4 5 は予め同期情報を読込んでおく（図 6 ステップ S 1 2）。

【 0 0 4 3 】

同期情報の転送及び同期データの蓄積が完了すると、映像取得手段 4 2 は D V D やビデオカセット、サテライト、ケーブルからの映像の取得を開始する（図 6 ステップ S 1 3）。再生用アプリケーション 4 5 は映像の再生を開始すると（図 6 ステップ S 1 4, S 1 5）、図示せぬ再生時間のカウンタのインクリメントを行う（図 6 ステップ S 1 6）。

【 0 0 4 4 】

再生アプリケーション 4 5 は予め読込んでおいた同期情報の指定した時間が来ると（図 6 ステップ S 1 7）、同期処理手段 4 6 に同期するデータ名を通知する（図 6 ステップ S 1 8）。

【 0 0 4 5 】

通知を受けた同期処理手段 4 6 は同期用データ蓄積手段 4 4 から同期用データを取り出し、同期用データ表示手段 4 7 に渡す。同期用データ表示手段 4 7 は同期用データを受取ると、そのデータの処理を行う（図 6 ステップ S 1 9）。同期用データは静止画や動画、音声、URL の指定等を想定している。

【 0 0 4 6 】

この動作によって、映像と同期用データとの同期を行う。また、上記のステップ S 1 5 ～ S 1 9 の処理は映像再生処理が終了するまで（図 6 ステップ S 2 0）、繰り返し実行される。

【 0 0 4 7 】

図 7 は本発明の別の実施例による映像再生システムの構成を示すブロック図である。図 7 において、本発明の別の実施例による映像再生システムは再生機器 5

1 と、データ出力手段 2 と、媒体 3 とから構成されている。

【0048】

再生機器 5 1 は映像取得手段 5 2 と、タイムスタンプ取得手段 5 3 と、同期用データ蓄積手段 5 4 と、同期処理手段 5 5 と、再生用アプリケーション 5 6 とから構成されている。尚、再生機器 5 1 はセットトップボックスや TV（テレビジョン）、及び PC 等である。

【0049】

データ出力手段 2 は DVD ドライブ、D-VHS、CD-ROM ドライブ等からなり、映像等を蓄積した媒体 3（この場合、DVD、ビデオカセット、CD-ROM 等の記録媒体）から映像データを取り出して再生機器 4 1 に対して出力する。

【0050】

図 8 は本発明の別の実施例による映像再生システムの処理動作を示すフローチャートである。図 7 及び図 8 を参照して本発明の別の実施例による映像再生システムの処理動作について説明する。

【0051】

再生機器 5 1 は映像取得手段 5 2 によって映像コンテンツデータを取得する（図 8 ステップ S 2 2）。映像取得手段 5 2 は取得した映像コンテンツデータをタイムスタンプ取得手段 5 3 に送信する。タイムスタンプ取得手段 5 3 は受取った映像コンテンツデータ内からデータに付加されかつ時刻情報を示すタイムスタンプを抜き出し、その情報と映像コンテンツデータとを再生アプリケーション 5 6 に渡す（図 8 ステップ S 2 3）。

【0052】

再生アプリケーション 5 6 は随時受取るタイムスタンプを同期用カウンタのリアレンスとし、予め読込んでおいたスクリプトに記述されている同期時間が来ると（図 8 ステップ S 2 1, S 2 4）、その旨を同期処理手段 5 5 に通知する。

【0053】

同期処理手段 5 5 はその通知を受けると、同期用データ蓄積手段 5 4 から同期する同期用データを読み出し、そのデータを処理する（図 8 ステップ S 2 5）。

これによって、映像コンテンツと同期用データとの同期を行う。

【0054】

上記のように、タイムスタンプを利用することによって、より厳密な同期を行うことができる。尚、上記のステップS22～S25の処理は映像再生処理が終了するまで（図8ステップS26）、繰り返し実行される。

【0055】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、外部から取り込んだ映像コンテンツを再生表示する再生装置を含む映像再生システムにおいて、映像コンテンツの再生表示時間を計数する映像再生カウンタを参照して予め読込んだ同期情報を基に再生中の映像コンテンツにその関連情報を同期させることによって、映像と同期用データとの同期設定を簡易に行うことができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の形態による映像再生システムの構成を示すブロック図である。

【図2】

本発明の一実施例による映像再生システムの構成を示すブロック図である。

【図3】

図2のスク립トの一例を示す図である。

【図4】

本発明の一実施例による映像再生システムの処理動作を示すフローチャートである。

【図5】

本発明の他の実施例による映像再生システムの構成を示すブロック図である。

【図6】

本発明の他の実施例による映像再生システムの処理動作を示すフローチャートである。

【図7】

本発明の別の実施例による映像再生システムの構成を示すブロック図である。

【図 8】

本発明の別の実施例による映像再生システムの処理動作を示すフローチャートである。

【図 9】

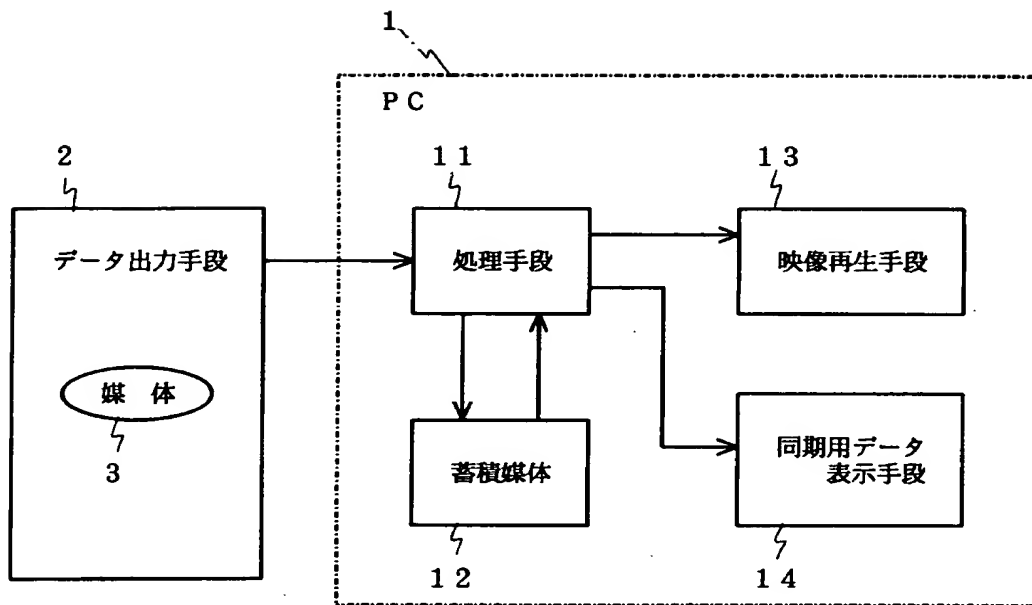
従来例による映像再生システムの構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

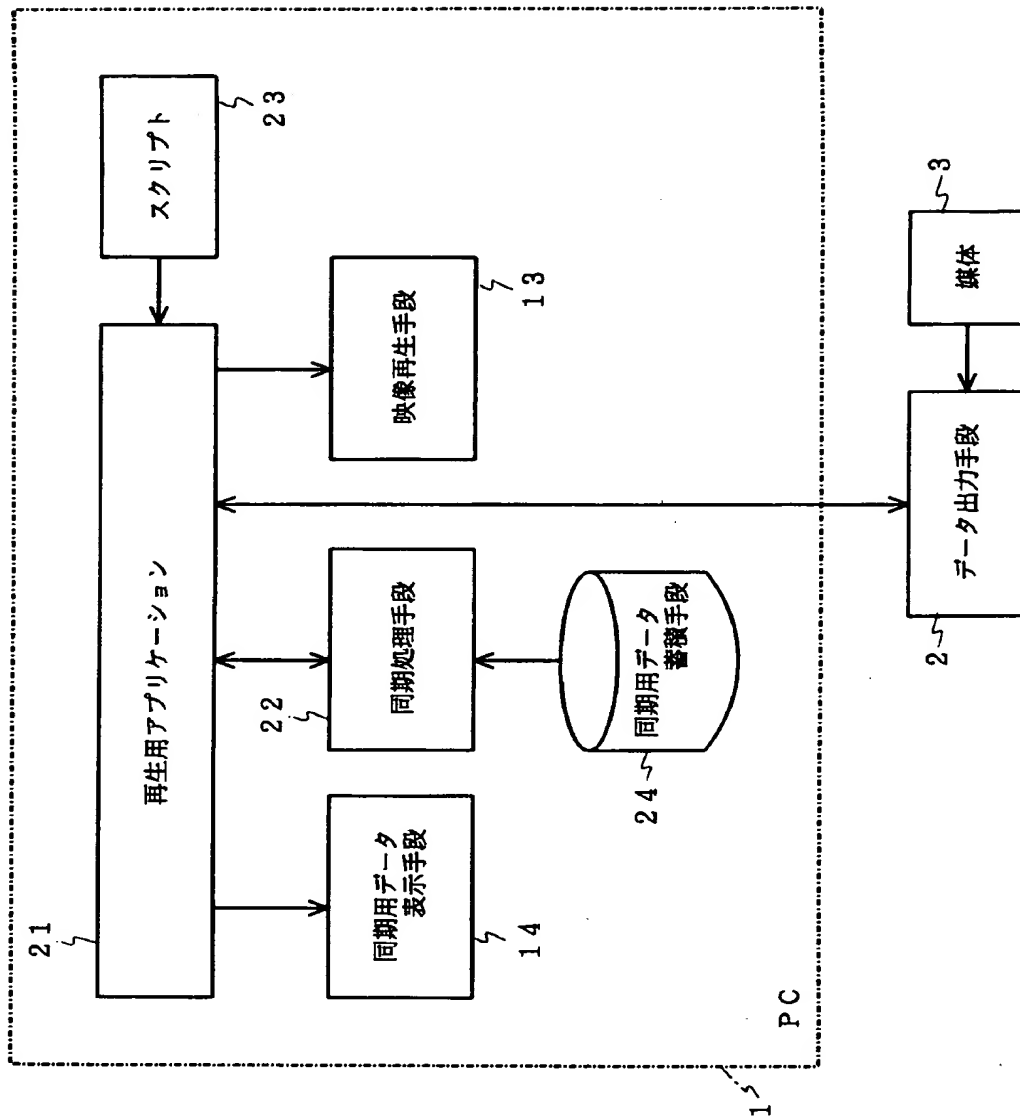
- 1 P C (パーソナルコンピュータ)
- 2 データ出力手段
- 3 媒体
- 1 1 処理手段
- 1 2 蓄積媒体
- 1 3 映像再生手段
- 1 4 , 4 7 同期用データ表示手段
- 2 1 , 4 5 , 5 6 再生用アプリケーション
- 2 2 , 4 6 , 5 5 同期処理手段
- 2 3 スクリプト
- 2 4 , 4 4 , 5 4 同期用データ蓄積手段
- 4 1 , 5 1 再生機器
- 4 2 , 5 2 映像取得手段
- 4 3 同期用データ／情報取得手段
- 5 3 タイムスタンプ取得手段

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



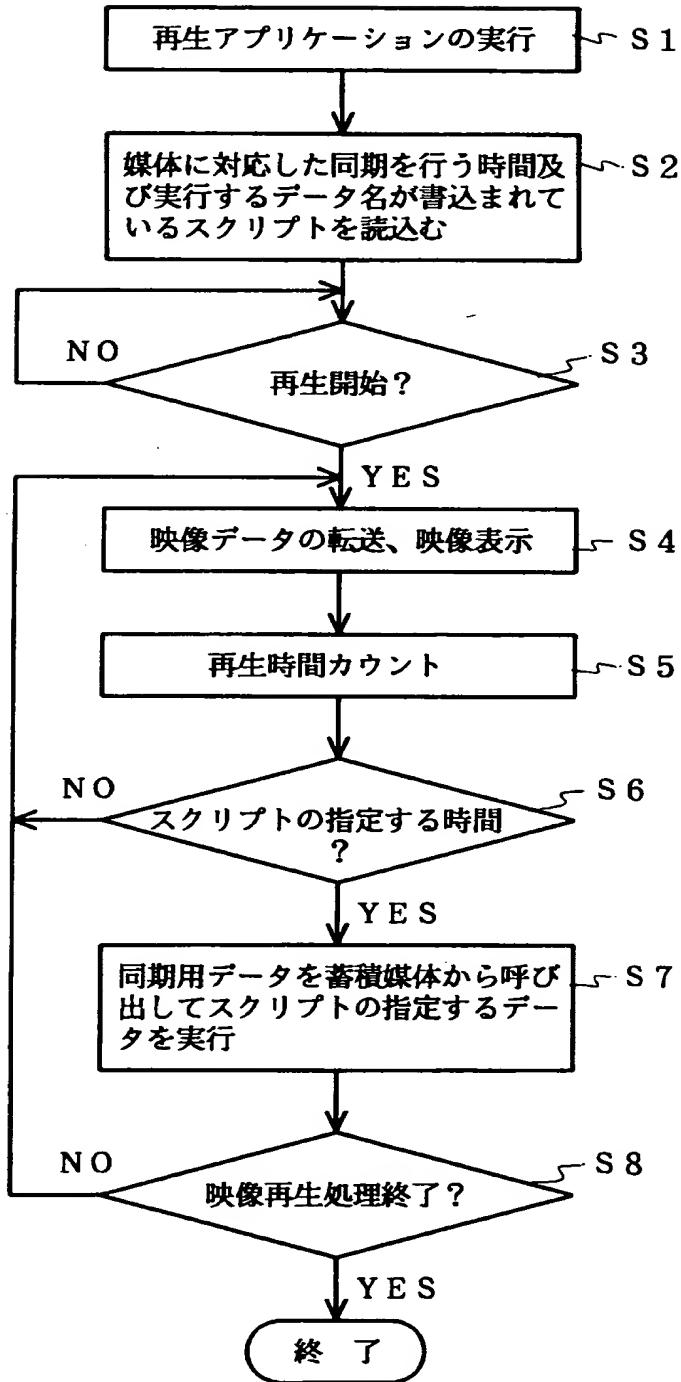
【図3】

```
; Sample Script

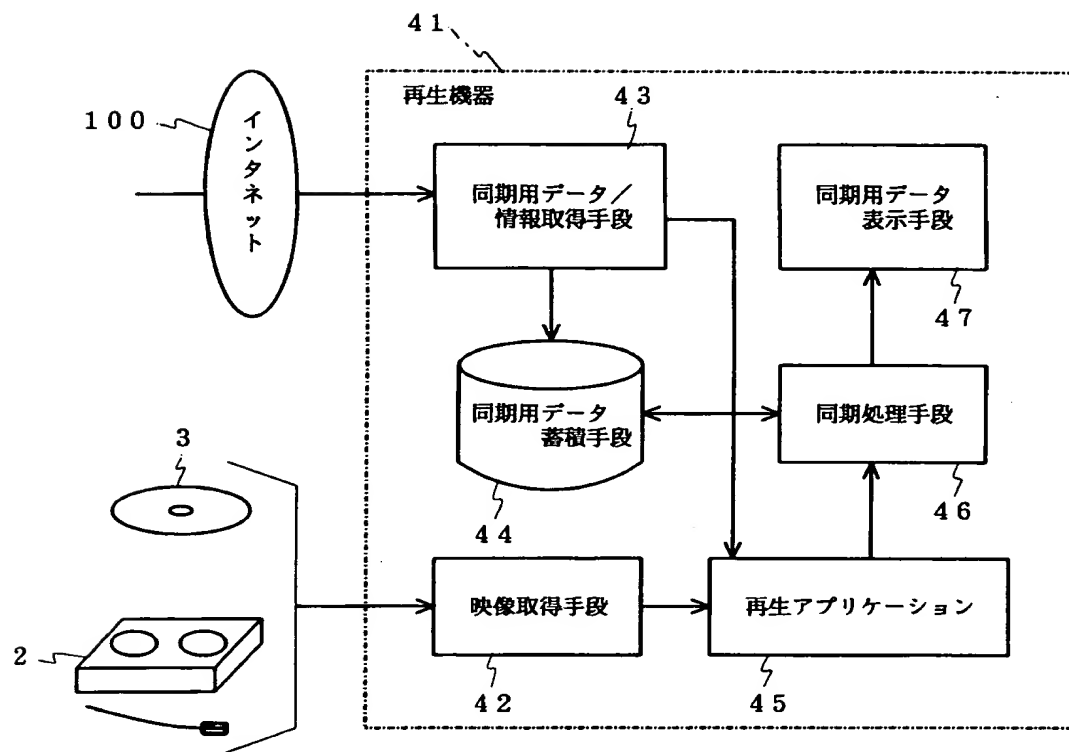
[00:00:30] info1.txt
[00:02:15] http://www.info.com
[00:15:20] data1.mpg
[00:23:40] info2.txt
[00:33:15] sample1.exe
[00:46:20] data2.wav
[00:55:40] data3.bmp
[01:05:00] data3.jpg
.
.
.
.
```

23

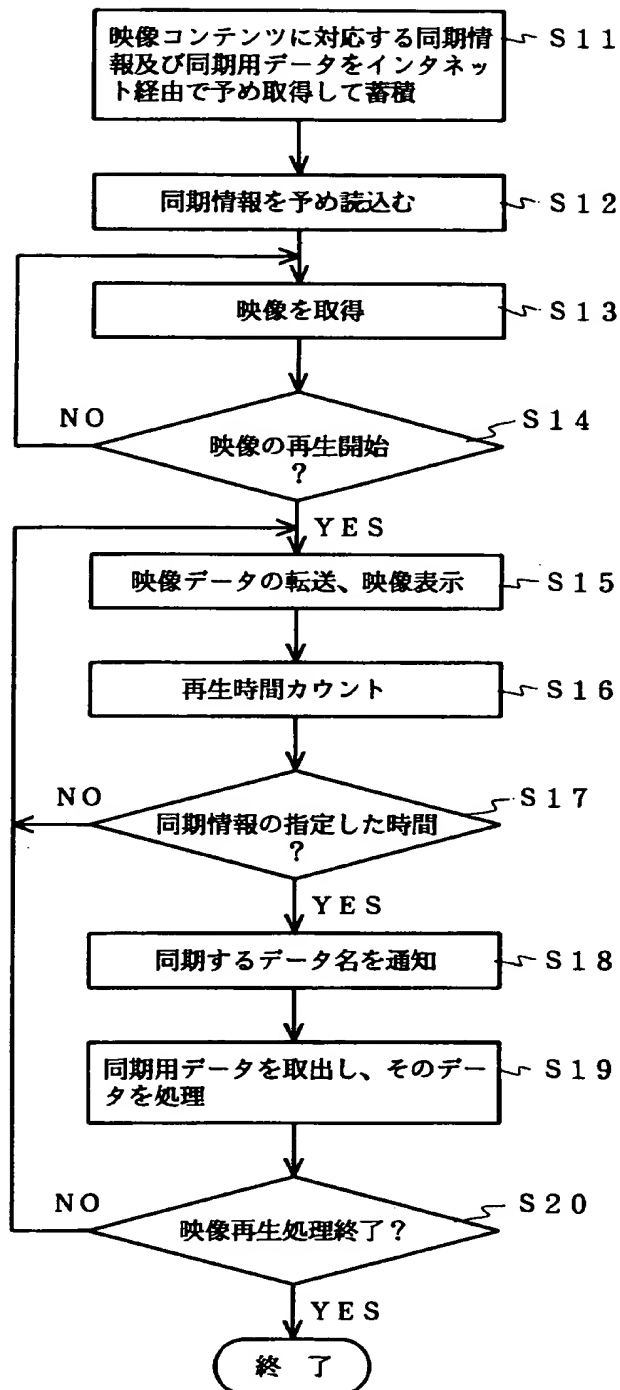
【図 4】



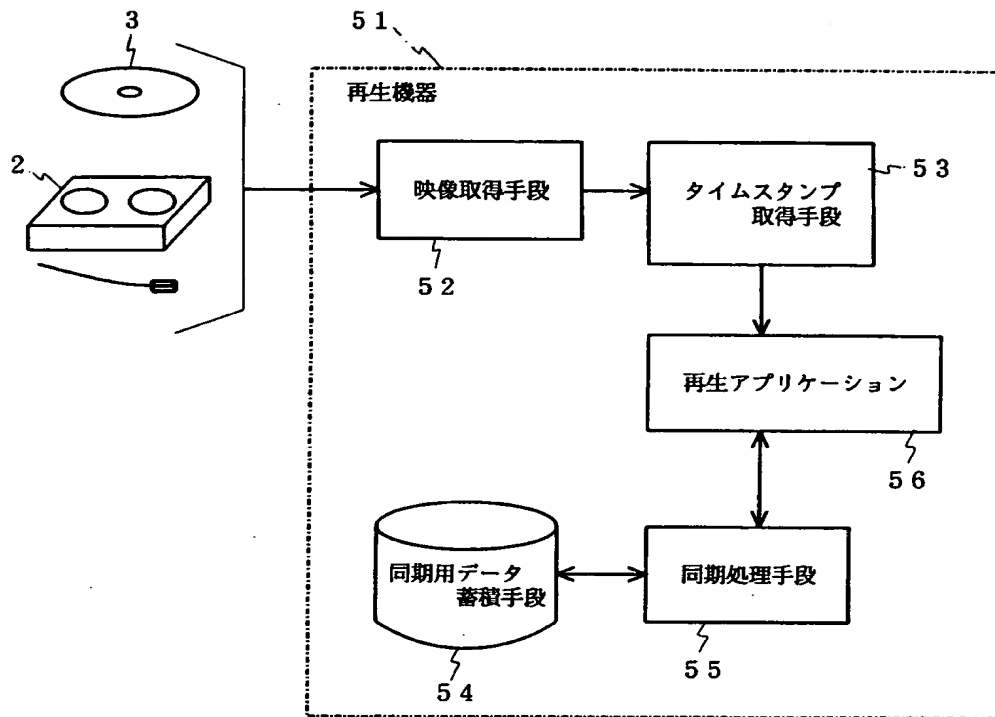
【図 5】



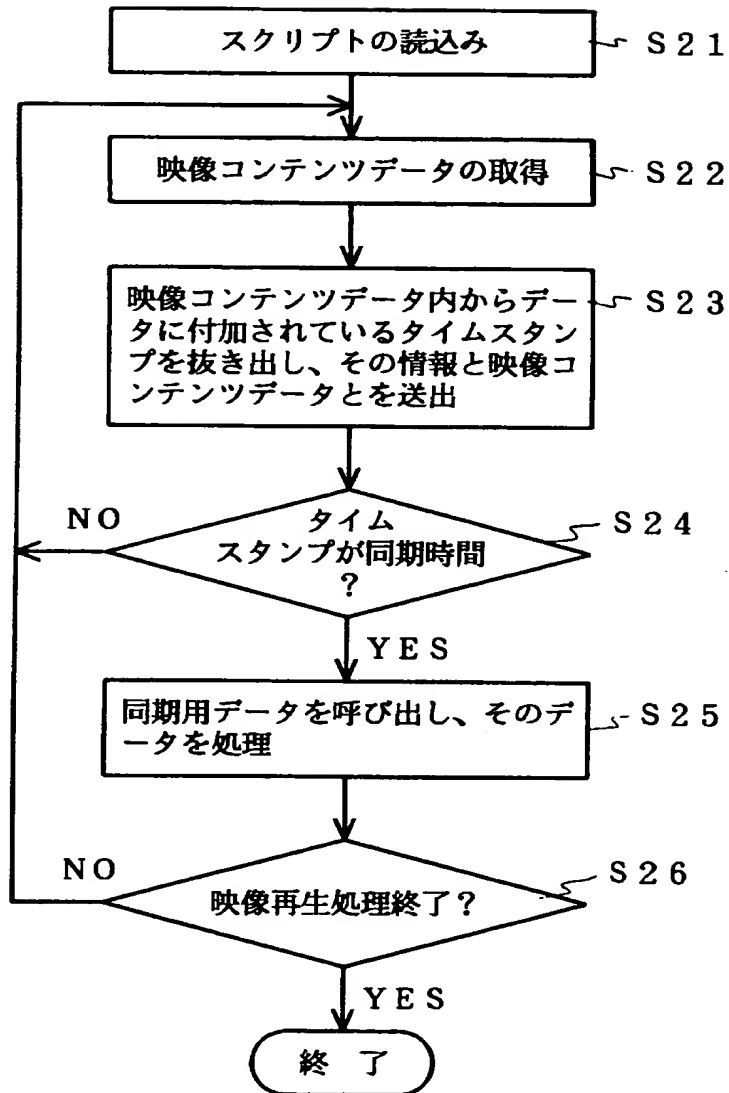
【図 6】



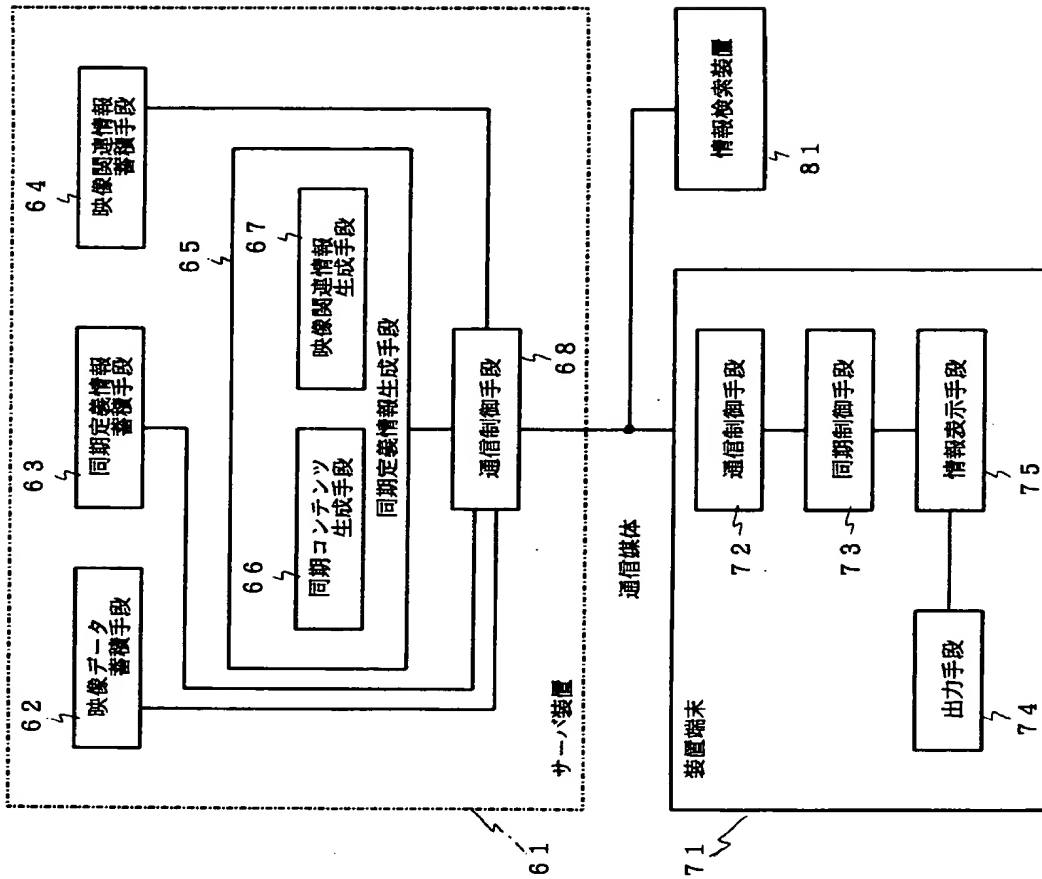
【図 7】



【図 8】



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 映像と同期用データとの同期設定を簡易に行うことが可能な映像再生システムを提供する。

【解決手段】 P C 1 の再生用アプリケーション 2 1 はデータ出力手段 2 から受取った映像データを処理して表示を行う。同期処理手段 2 2 は映像データに関連しかつ映像データに同期して表示すべき同期用データと映像データとの同期処理を行う。スクリプト 2 3 には同期を行う時間及び実行するデータ名が書込まれている。同期用データ蓄積手段 2 4 は同期用データを蓄積し、映像再生手段 1 3 は再生用アプリケーション 2 1 が処理した映像データを表示し、同期用データ表示手段 1 4 は同期処理が行われた同期用データの表示を行う。データ出力手段 2 は P C 1 に接続され、映像等を蓄積した媒体 3 から映像データを取り出して P C 1 に対して出力する。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区芝五丁目7番1号

氏 名 日本電気株式会社